

さいたま市防災カルテ

岩槻区

①区の概況と課題

◆区の概要

【位置】さいたま市の東部に位置し、春日部市・川口市等5市と隣接。
【地形】緩やかに起伏した台地で、元荒川の水辺など、豊かな自然環境に富む。
【土地利用】市街化区域がコンパクトにまとまっており、広域幹線道路沿道を中心に製造業・流通サービス業が集積。
【交通】東武野田線が走り、国道16号、国道122号、東北自動車道が走っている。

◆全体図



◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

避難場所	35ヶ所	消防署・出張所	4ヶ所	市役所・区役所	3ヶ所
一時避難場所	4ヶ所	警察署・交番	5ヶ所	支所・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	3ヶ所	応急給水場所	10ヶ所

◆区内被害想定結果

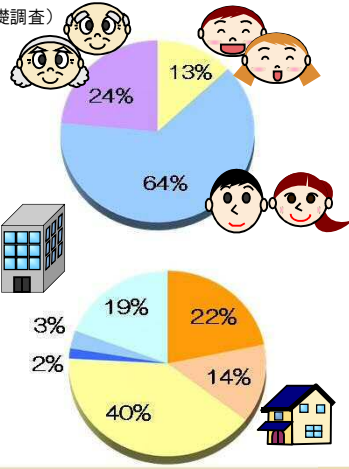
地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.2)	6弱 (5.9)			
最小震度	6弱 (5.5)	5強 (5.3)	5弱 (4.9)			
死者	34人	32人	1人			
負傷者	662人	601人	77人			
避難者	10,955人	11,103人	798人			
全壊建物棟数	968棟	1,037棟	47棟			
うち焼失棟数	246棟	377棟	3棟			
半壊建物棟数	5,322棟	4,726棟	1,230棟			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	7,597棟	2,193棟	0棟	0棟	1,934棟	0棟
床下浸水建物棟数	7,078棟	9,614棟	76棟	0棟	2,345棟	0棟

◆区内人口・建物概況

(人口:平成22年国勢調査)
(建物:平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

人口等	人口	割合
総人口	111,286人	
0-14歳	14,403人	(13%)
15-64歳	70,711人	(64%)
65歳以上	26,172人	(24%)
人口密度	2,261人/km ²	
世帯数	41,942世帯	

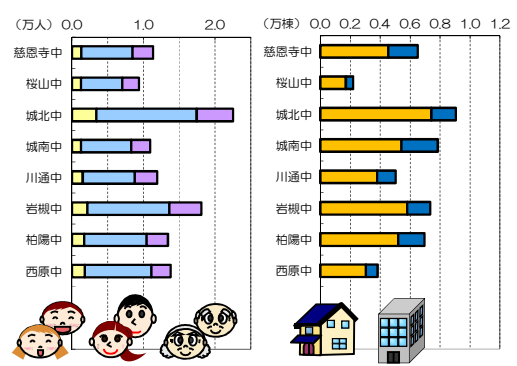
建物	棟数	割合
総建物棟数	48,768棟	
木造(昭和46年以前)	10,586棟	(22%)
木造(昭和47-55年)	6,706棟	(14%)
木造(昭和56年以後)	19,693棟	(40%)
非木造(昭和46年以前)	865棟	(2%)
非木造(昭和47-55年)	1,529棟	(3%)
非木造(昭和56年以後)	9,389棟	(19%)



◆学区別人口・建物概況

(人口:平成22年国勢調査)
(建物:平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

学校区名	人口	建物棟数
慈恩寺中学校区	11,326人	6,512棟
桜山中学校区	9,350人	2,195棟
城北中学校区	22,539人	9,048棟
城南中学校区	10,925人	7,851棟
川通中学校区	11,909人	5,041棟
岩槻中学校区	18,076人	7,342棟
柏陽中学校区	13,398人	6,953棟
西原中学校区	13,764人	3,826棟



◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

地震	慈恩寺中学校区	桜山中学校区	城北中学校区	城南中学校区	川通中学校区	岩槻中学校区	柏陽中学校区	西原中学校区
最大震度	6弱 (5.8)	6強 (6.0)	6弱 (5.9)	6強 (6.1)	6強 (6.0)	6弱 (5.9)	6強 (6.1)	6強 (6.1)
最小震度	6弱 (5.5)	6弱 (5.5)	6弱 (5.6)	6弱 (5.6)	6弱 (5.5)	6弱 (5.6)	6弱 (5.6)	6弱 (5.6)
死者(人)	2	1	5	10	6	4	4	3
負傷者(人)	58	20	103	153	89	91	91	57
避難者(人)	932	783	2,171	1,248	1,270	1,924	1,262	1,366
全壊建物棟数(棟)	39	19	175	206	127	204	103	95
うち焼失棟数(棟)	4	1	77	5	3	120	12	24
半壊建物棟数(棟)	455	172	880	1,139	764	746	706	459
水害	慈恩寺中学校区	桜山中学校区	城北中学校区	城南中学校区	川通中学校区	岩槻中学校区	柏陽中学校区	西原中学校区
床上浸水建物棟数(棟)	294	197	2,000	1,191	1,827	885	961	242
床下浸水建物棟数(棟)	1,182	439	1,873	821	1,389	716	205	453

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】いわゆる旧耐震基準の古い木造建物が多いため、**耐震化率の向上が必要。**
【避難者】高齢者が多く、**地域で協力した避難行動・救助活動が必要。**
【水害】水害(荒川・利根川・綾瀬川・元荒川等)の危険性が高い地区となっており、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要。**

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

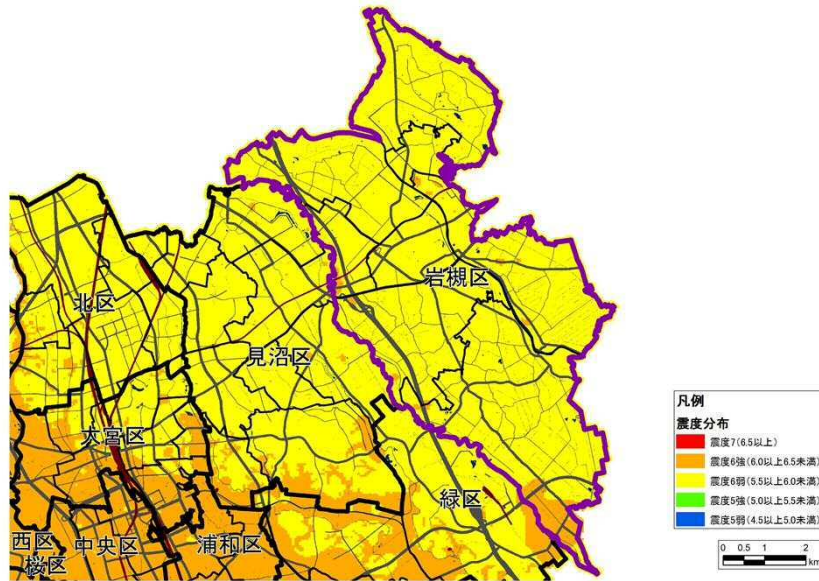
②さいたま市直下地震の想定

さいたま市防災カルテ

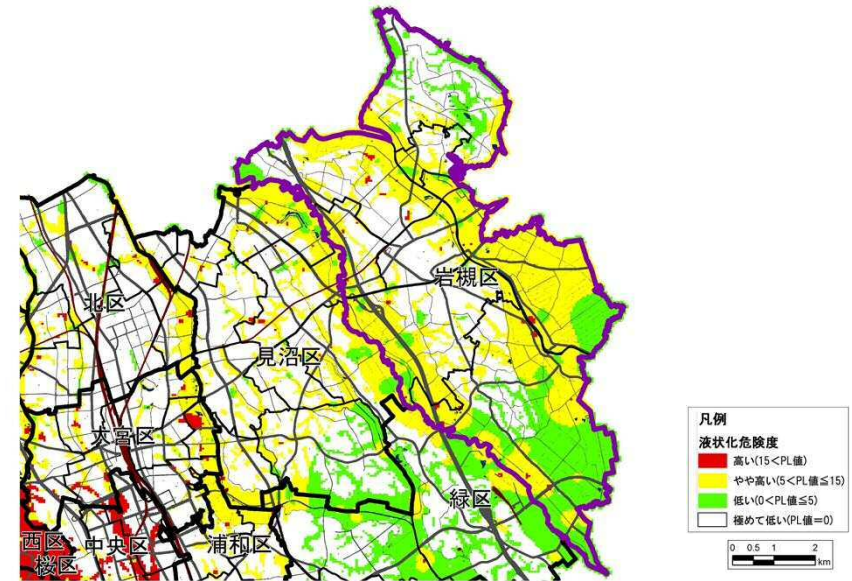
岩槻区



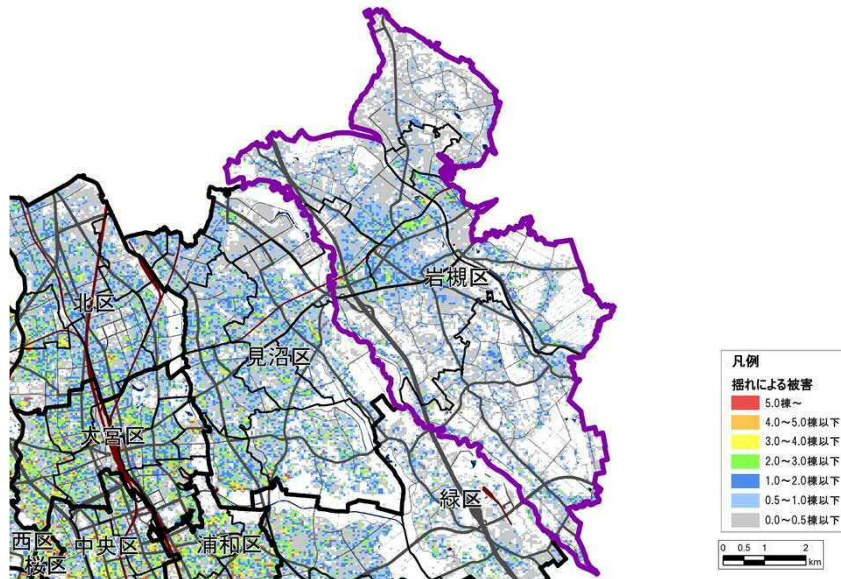
震度分布図



液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

